

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスららゆ			
○保護者評価実施期間	2025年10月10日		～	2025年10月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21家庭	(回答者数)	21家庭
○従業者評価実施期間	2025年10月10日		～	2025年10月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を行う為、一人ひとりに合わせた細やかな支援が行える。	・成長や進路、生活スタイルに合わせた支援を行う。 ・学校や日常生活での困りごとについて聞き取りを行う。 ・本人や家族に無理のないよう話し合いながら進めていく。	・支援方法や療育についての研修等に積極的に参加し、職員のスキルアップを行う。
2	学校や相談支援事業所等と密に連携し、共通理解の下で支援を行える。	・送迎時や担当者会議等で学校生活や日常生活での強みや困りごと等を共有する。 ・学校や日常生活での取り組みについて聞き取りを行い、共通した対応を行う。 ・連絡帳を活用する。	・学校で行われる行事等に積極的に参加する。 ・先生や相談支援員の方等に事業所に来てもらい、実際の療育等を知ってもらう機会を設ける。
3	事業所内での情報共有・連絡を細かく行う為、全体で一貫した支援を行える。	・送迎時に聞き取った内容は毎日の会議で共有する。 ・療育内容や支援方法等についても会議を行い、全員が共通理解して支援を行う。	・支援方法や療育についての研修等に積極的に参加し、職員のスキルアップを行う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や家族等も参加できる研修の機会が少ない。	・就労されている保護者の方が多いため、日程調整が難しい。 ・保護者同士が気軽に話せる場が少ない。 ・それぞれのご家庭で困りごとが異なるため、一括での開催が難しい。	・一度に開催せず、数日に分けて少ない人数で行う。 ・保護者同士が交流しやすいようなプログラムを行う。 ・個別に対応し、家族支援を行う。
2	地域の他の子どもと活動する機会が少ない。また、交流したことを広く周知できていない。	・感染症等の状況で、子ども園等との交流を開催することが難しい。 ・昨年は高校生との交流があったが、知らない保護者もいる様子だった。	・感染症等の状況を確認しながら、開催できるよう調整する。 ・おたよりやHPに活動内容を掲載していることを周知していく。
3	事業所の活動スペースが運動等を行うには少し小さい。	・中高生の利用者も多く、運動等を行うには狭い。	・公園や地域の体育館を利用し、運動できる場を設ける。 ・事業所の駐車場のスペースも活用する。 ・今年は体育教室を開催した。今後も外部施設を活用していく。